

平成 29 年度第 1 回 垂水区地域包括支援センター運営協議会（議事要旨）

1 日時 平成 29 年 7 月 28 日（金） 午後 1 時 30 分～ 午後 3 時 15 分

2 場所 垂水区役所 2 階健康教育室 2, 3

3 議題

(1) 平成 28 年度地域包括支援センターの運営状況について

(2) 平成 29 年度地域包括支援センター事業計画書について

(3) 地域包括支援センターの公正・中立性について

(4) 地域ケア会議について

(5) 地域包括支援センターの自己評価について

・自己評価の目的について

【 以下 非 公 開 】

・自己評価の実施結果について

(6) 地域包括ケア充実のための事業目標について

(7) 特定事業所へのサービス集中率について

(8) 地域包括支援センター28 年度収支決算書・29 年度収支予算書について

4 出席者 委員 12 名中 10 名出席 傍聴人 1 名

5 当日出された主な意見・質問および回答（要旨）

① 神戸市高齢者安心登録事業の登録者が 117 名とあるが、区と市どちらの登録人数か。
⇒・区の登録人数である。

② 各地域包括支援センター（以下、センター）の事業計画書の中に、平成 29 年度より開始された認知症初期集中支援事業について記載がないが、理由はあるか。
⇒・認知症に関する取り組みについては、各センターとも喫緊の課題として挙げているところであるが、認知症初期集中支援事業については、事業計画書策定時に開始時期が明確でなかったため、事業計画書の中には具体的に記載されていない。

③ 医師会では医療介護サポートセンターを市より受託し、センター等から相談を受けている。今後も、医療と介護の連携の強化が必要であると考えている。
⇒・区においても、医療と介護の連携は重要であると考えており、地域ケア会議へ 3 師会の方々にご出席いただき、連携について検討しているところである。

④ 垂水区地域ケア会議について、施設関係者にも出席案内はあるのか。
⇒・会議の議題・内容によって、施設関係者の方にもご出席いただきたい場合があるので、その際にはご案内をする予定である。

【以下 非公開議題】

- ⑤ 塩屋あんしんすこやかセンターについて、自己評価が昨年度と比較すると大きく下がっているが、理由はあるのか。
⇒・平成 27 年度は成年後見制度の啓発や塩屋いきいき体操の普及等、様々な取り組みをしたことを評価したため数値が高くなったが、平成 28 年度は評価者が変わり、できていない部分に注目して評価したため、辛口の結果となっている。市が行っている客観評価では運営上の問題はないと認識している。
- ⑥ 本多聞あんしんすこやかセンターについて、決算がマイナスになっている。2 圏域を担当して大変な部分があると思うが、人件費が他のセンターと比べてかなり多くなっている点が気になる。センターの経理面に関してこの会議の中で意見することは可能か。
⇒・気になる点や改善すべき点があれば、忌憚のないご意見をいただきたい。今回いただいたご意見については介護保険課にも伝え、適切なセンター運営につなげていきたい。
- ⑦ 人件費の内訳について、計上されているのは常勤の職員か。兼務の職員も含まれているのか。
⇒・法人の加配も含まれており、兼務している場合もある。その他については、予防プランナー等が含まれる。
- ⑧ 事業目標について、今年度より新しい記入様式になっているが、具体的に目標を設定しているセンターもあれば、抽象的に目標を設定しているセンターもあり、センター間でばらつきがある。様式の使い方や目標の設定について、各センターで足並みを揃えていく必要があるのではないか。
⇒・様式については使いやすいように進化していくべきものと考えており、いただいたご意見は介護保険課へ伝え、今後の改訂の参考にしていきたい。
- ⑨ 介護業界全体が人手不足という現状の中、センター職員においても 1 人あたりの業務量や負担が大きくなっており、疲弊していないか心配である。センター職員の心身の健康についてサポートしていく体制が必要ではないか。
⇒・ご意見については介護保険課へ伝え、検討していきたい。

以上